

【EWE 先輩からのメッセージ】

世界に貢献する準備をしよう !!

)

皆さんこんにちは。日立製作所の廣瀬と申します。私は現在入社 16 年目で、社内およびグループ内の基幹システムの設計・開発・導入・運用業務を行っております。基幹システムとは、会社の業務内容と直接関わるシステムです。弊社ではシェーバーから発電機・電車まで物理的な製品や、目には見えないけれど社会を支えている IT 製品まで多種多様な製品を通じて社会に貢献する事を価値として提供しています。多くの製品は、人やモノの調達に始まり、生産や販売をしたり、在庫の管理をしたりする必要があります。そのような業務に関する様々なデータを 1 つのシステムにて管理するシステムが、基幹システムです。

現在は M&A やカーブアウトにより弊社が推進する社会イノベーション事業を実行できるリソースが整いつつある一方で、新しく日立グループになった企業では別システムが稼働しており、新規ビジネス要件への追随やシステム運用費削減の観点から、日立グループ内でもシステムを統一しようとしています。

最近、社会全体も社内における組織・業務も、日に日にグローバルになっている事を実感しています。グローバル プロジェクトに関わっていく中では、英語が共通言語となり、資料も会議も英語になっているため、学生の頃からできるだけ英語に触れ、聞いたり話したりする機会を可能な限り多く作る事を心がけておいた方がよいと

(株)日立製作所

IT デジタル統括本部

廣瀬 仁徳

情報生産システム研究科

山内 研究室

2010 年 3 月修了

思います。また、英語は手段であり目的ではないというマインドセットを持ち、他者の目を気にせずに、自分が伝えたい事を如何に伝えられるかという事を意識しておく事も大切だと考えます。

また、仕事においては、様々なステークホルダーと協力し、日々変化していく、答えのない世界で、今までに経験した事ない新しい事にも挑戦していく事が必要です。このプロセスは、社会になって初めて必要になってくるものではなく、今皆さんが実施している研究でも必要ですし、学生生活を送る中でも培えると思います。研究自体に集中し結果を出す事も重要ですが、その過程で他者を巻き込み協力を得る事や、共に成し遂げるという成功体験なども、将来かならず役に立つはずですので、是非変化を恐れずに、情熱を持って大きな事に挑戦してみてください。

また、我々の仕事は 1 人で完結する事は無く、多くの人を巻き込みながら、推進していく場面が多々あります。その中では相手の発言を否定せずに、心理的安全性を確保しながら推進することが重要です。ぜひ技術・知識だけではなく、コミュニケーション能力についても高めていくことも心がけてみて下さい。

就職活動を通じて、自身を見つめなおし、自分がどう生きたいか、どうありたいか、是非考えてみて下さい。仲間として働けることを楽しみにしています。